

B220 初～中級

(PC 実習あり)

特許情報分析ツールの活用法

～目的に合わせた特許マップの作り方～

講師	井手 功人 (日本パテントデータサービス(株) 知財研修部 課長)
日程	東京会場
	10月21日(金)
	大阪会場
	7月15日(金)
時間	1日間(10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	東京会場：12名、大阪会場：10名 (先着順申し込み)
受講料	20,000円(税込22,000円)
対象	研究・開発部門の技術者、特許調査部門の調査担当者

内容

特許情報分析ツール(マップソフト)導入したが、実際に目的に合った特許分析をどのようにすれば良いのかが分からずに活用されていないという方も少なくないのではないのでしょうか。

本セミナーでは、目的ごとの特許マップ事例の紹介とその作成方法を解説し、実際に分析ツール(ぱっとマイニングJP)を使用して特許マップの作成を体験します。

特許調査担当者、技術・研究部門の企画担当者など特許調査分析を行なう方に最適なコースです。

プログラム

- 特許情報分析のための特許情報の基礎
 - 書誌情報(出願人・権利者、発明者、特許分類)
 - 明細書情報
- 特許マップの種類とその用途
 - 統計解析
 - 技術情報解析
 - 特許マップ作成時の注意点
- 特許マップの作り方～統計マップ～
 - 時系列マップ
 - 課題と解決マップ
- まとめ

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- 本講座は、「はじめての特許調査(Ⅰ、Ⅱ)」講座をすでに受講された方にお勧めいたします。
- セミナーでは、商用の特許情報データベース「JPNET」、特許情報解析ソフト「ぱっとマイニングJP」の使用を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。)
- セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。